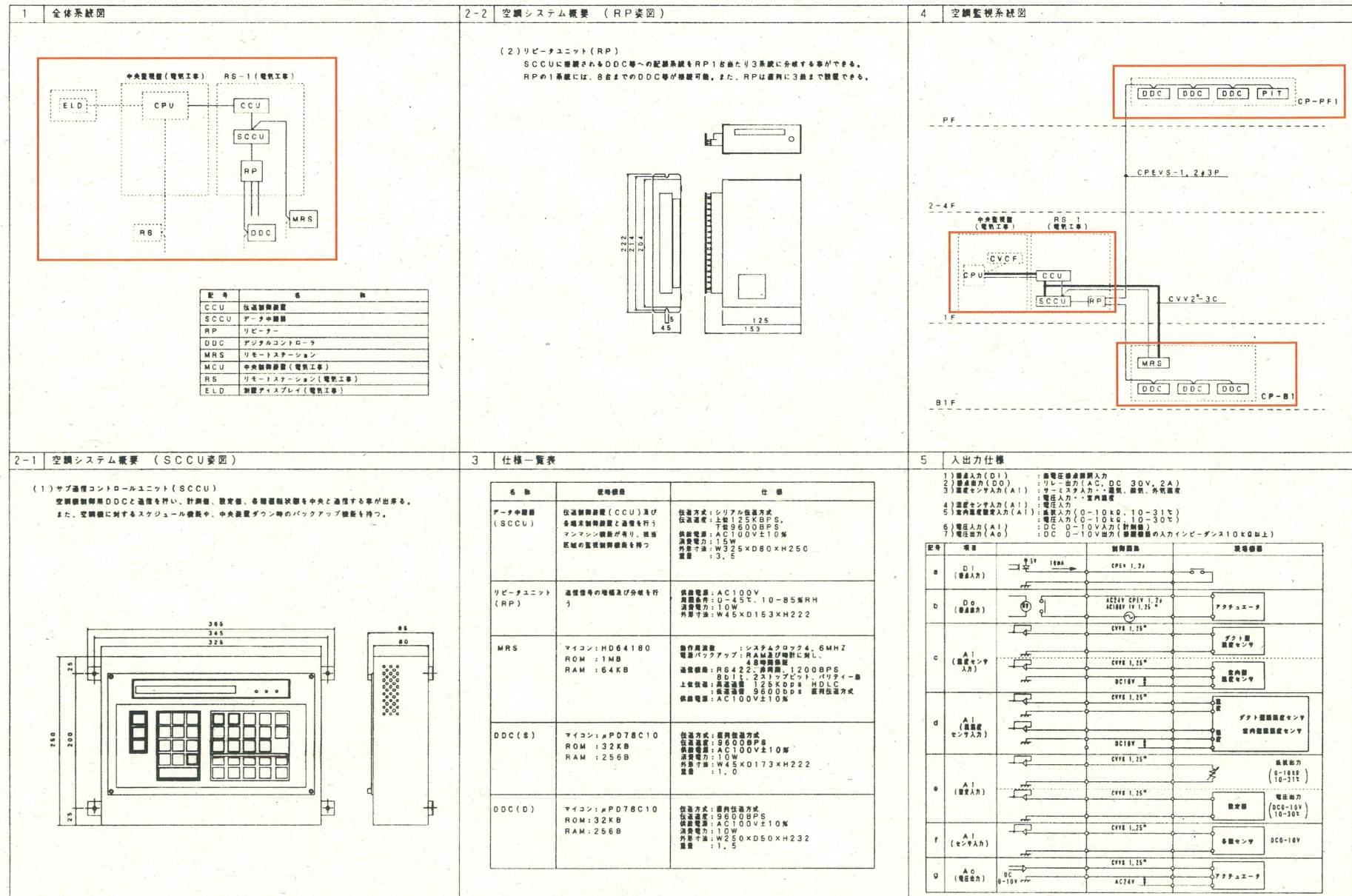
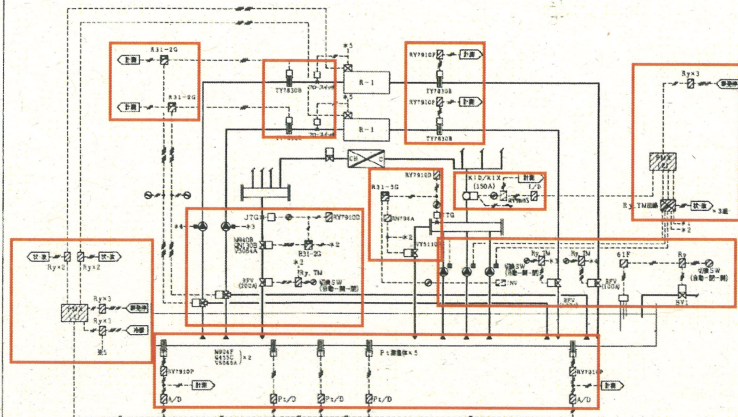


別紙 改修範囲図（中央監視盤、リモート機器、自動制御機器更新対象）

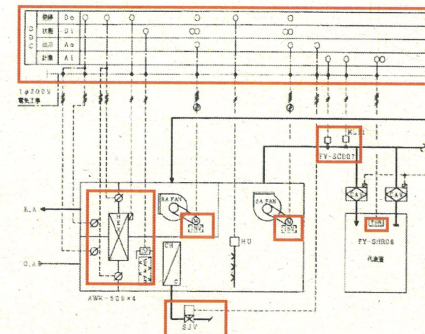


1	熱源廻り制御
---	--------



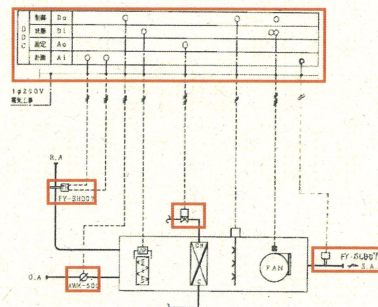
- ① 数量と価格
価格を一定とする。数量が変化する。
- ② 価格弾力性
価格弾力性が高い。
- ③ 2次シフトの価格弾力性
2次シフトの価格弾力性は、1次シフトの価格弾力性よりも高い。
- ④ 人口と労働力
人口と労働力は一定とする。労働力は人口に等しい。
- ⑤ パイハス効果
パイハス効果により、パイハス効果の大きさが変化する。
- ⑥ 価格と数量
価格と数量は一定とする。価格と数量は一定とする。
- ⑦ 価格弾力性とパイハス効果
価格弾力性とパイハス効果は一定とする。価格弾力性とパイハス効果は一定とする。
- ⑧ 価格弾力性とパイハス効果
価格弾力性とパイハス効果は一定とする。価格弾力性とパイハス効果は一定とする。

3	外調機制御 (1)
---	-----------



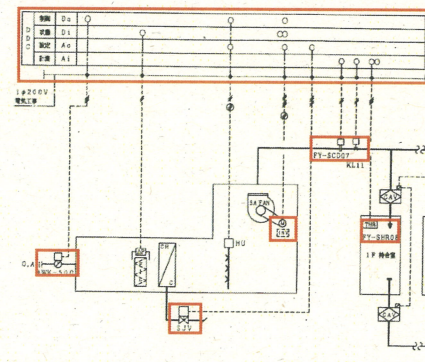
1. 除染施設整備
汚染土壌の除去と放射能濃度のより、汚染水2万リットル以内を行います。
2. 室内除染対策
汚染程度と室内空気と代表値の計算値により、加減0.5/0.2で加減を行います。
3. 風通し対策
給排気口の熱交換設備と太陽光により、給排気のシータ対策を行います。
4. 汚染引換
セシウム137の基準により、汚染引換を行います。
5. インターロック
汚染検知機と、主電源、2万リットルインターロック装置。
6. 汚染汚染対策
汚染程度と室内空気と代表値により、汚染水汚染対策を行い、汚染水対策、除染イベントを全額とします。

2	空調機制御
---	-------



1. 屋上温度制御
空調設備の設置定価と対象温度により、冷暖は2方向の
気流制御を行います。
2. 屋上湿度制御
空調設備の設置定価と対象湿度により、加湿用のQ/R、
Q/F制御を行います。
3. 室内M/D制御
空調稼働時に室内と室外の温度差が、0.5℃以下を
一定時間維持します。
4. 冷暖全廃
中央からの指示により、冷/暖の稼働を止めます。
5. インターロック
空調稼働時、加湿機、2方向M/Dのインターロック
を行います。

4	外調機制御 (2)
---	-----------



1. 筋力測定装置
筋力測定装置と計測機により、冷熱室より
計測開始を行います。
2. 室内温度調整
被験者の測定値と代謝室の計測値により、加
熱・冷却室の計測機を行います。
3. 風呂入れ
筋力データの修正と計測機により、筋力
データ取得を行います。
4. 冷却終了
中休みの時間により、冷却の記録を行います。
(データ、A14U-1)
5. インターロック
空調機停止時 加温室、2分間、Mのインターロ
ック停止。

